

塩治
地区

社会福祉協議会便り

編集・発行 塩治地区社会福祉協議会 事務所 塩治コミュニティセンター内 TEL 21-0248
塩治社協ホームページ <http://enyashakyo.skr.jp/>



10月25日（日）、恒例の『児童福祉綱引き大会』が開催されました。爽やかな秋晴れのもと、塩治小学校の第一体育館は、子供たちの熱戦や保護者の方々の応援で熱くなりました。

今年は参加児童数の少ない地区が例年より多く、8地区の子ども会が合同チームを結成して出場しました。また2チーム出場した子ども会は5地区あり、合計23地区24チームで競い合いました。

6ブロックに分け予選リーグをおこない、各ブロックの1位が決勝トーナメントに進出しました。368名の子どもたちが、一人一人の力を出し切りチームのために頑張りました。



優勝した「菅沢・高西2」チーム

結果 1位 菅沢・高西2合同チーム
2位 揚2青チーム
3位 高西3チーム



この大会が無事終了したのは、子どもたちの頑張りはもちろんのこと、子ども会の役員の方々の数回の打ち合わせやリハーサルなど並々ならぬ努力があつてのことでした。子どもたちはたくさんチャレンジし、勝っても負けても、すばらしい経験をしたことと思います。

子どもたちの成長をサポートできたことは幸せなことでした。
(青少年育成部 土屋 淳)

今年度も福祉座談会を開催しました！

地域福祉の向上のための意見を聴く場として、今年度は二つの福祉座談会を開催しました。

■塩冶地区自治協会との意見交換会

10月20日（火）、自治協会の理事19名と社協理事14名の参加により、塩冶地区の住民福祉を高めるため「相互理解と連携」をテーマに、お互いの活動状況を理解し組織間の連携を行うため、活発な議論を行うことができました。

■出雲二中との意見交換会

10月30日（金）、出雲二中の生徒会役員8名、先生6名と社協理事11名、愛友会1名の参加により、「ユニバーサルにデザインされたまちづくりをめざして」をテーマに意見交換会を行いました。生徒たちが普段の生活で感じていることや施設状況等について話したのちに、身近な公園の状況を調べてみては？



との社協からの問いかけに対し、生徒たちから「自分たちで点検項目を作り、ぜひやってみたい」との声。最後に中島校長からは「一緒にやることに意義があり、進んでやらせていただきたい」との挨拶があり、今後この調査を具体化していくことになりました。（広報広聴部）

日本語教室で「チャイルドデー」を開催！



日本では5月5日が子供の日ですが、ブラジルでは10月12日がチャイルドデー（Dia das Crianças）です。日本語教室の子ども達と一緒にこの日を楽しく、百寿会の協力を得て、参加者42名（子ども11名、保護者等6名、百寿会15名、社協10名）で、ゴム銃遊び・紙飛行機作り・折り紙・羽根つき・竹トンボ・ゴム飛びなど、たくさんの日本の遊びを行いました。

子どもたちは羽根つきやゴム飛びで思い切り体を動かし、保護者の方も熱心に折り紙で花コマを作られ、ゴム銃で的のコップに当たると歓声があがりました。休憩には保護者持参のサンドイッチやお菓子・ジュースをいただきながら、和気あいあいと過ごすことができました。子ども達に「何が一番楽しかった？」と聞くと、「おやつ！」の一声、「羽根つき」「ゴム飛び」との声も上がり、日本の昔遊びを通し、教室の子ども達や保護者、たくさんの方と交流ができ、とても楽しいひとときとなりました。（青少年育成部）

半分 Bサロン会

健康教室を楽しむ！ （ストレッチ体操）

私達半分区域の高齢者は、介護予防と健康寿命を延ばすことを目的に、健康体操教室を今年の4月に立ち上げました。毎週木曜日13:30~15:00、正月と盆は休みとして、毎月4回（1月と8月は3回）、年間46回の開催です。事前にアンケートを取り、参加出来る人が一番多い「木曜日の午後」を開催日としました。これまでに1回も中断することなく順調に開催しています。

毎月の第1、第3木曜日は講師の先生にお願いし、第2、第4は地域包括支援センターで作成して頂いたCDを使って自分たちで行っています。毎回の参加者は9~12人位、高齢者ではありませんが民生児童委員の方にも協力いただいています。

体操の内容は脳トレに始まり、全身のストレッチ、転倒予防、筋力強化などほとんど座って出来ます。帰る頃には身体が軽くなった気がします。



時々ゲーム（輪投げ、カルタなど）も行い、みんなで楽しんでいます。



「継続は力なり」と言います。1人では続けられなくても仲間がいれば、1時間もあっという間。参加者同志の絆が深まり、誰かが欠席だと体調が悪いのかとみんなで心配をしたりしています。

そして色々な方の協力があってこのクラブが出来ました。感謝・感謝です。

継続して行く為には、多くの会員が必要です。半分区域の皆さんのたくさんのお入会をお待ちしています。

（半分Bサロン会 代表 山本 紘子）

菅沢・下沢 サロン会

島根原発を 視察しました！

10月30日(金)、今年度第2回のサロン会は島根原子力発電所を視察しました。上塩冶地区のほとんどが原発から30km圏内に入ることから、今の原発を見ること、原発について少し考えてみてはと、中国電力の広報企画に合わせて現地視察を行ったものです。当日の参加者は27名(理事、福祉委員を含む)。

原発構内に入るには厳しい取り決めがあり、事前の名簿提出や本人確認書原本の持参、そして現地での一人一人の本人確認が必要です。聞いたところでは、本人確認の原本を忘れて、原発構内に入れない人がたびたびいるとのこと。「原本」を忘れる人がいないかと心配をしましたが、一人も忘れ物なしで、全員が無事に原発構内に入ることができました。



原子力館で中電の担当者から詳しい説明を聞いたのち、実際に原発構内を巡回し巨大な施設を目の当たりにすると、テレビの画面や新聞報道で見る原発のイメージとは違い、現地を見た参加者のみなさんからは「やっぱり来てよかった！」と言っていました。原発視察を終えると「多久の湯」へ移動。ここで昼食をいただいたのちに、中電の方と原発の安全性や働く人たちのこと、宍道断層のこと等、いろんな質問を出して意見交換を行いました。

その後は、温泉に入ったり買い物をしたりして過ごし出雲へ帰りました。今回の視察で自分たちの街や電力そのものについても考えることができ、参加いただいたみなさんにとっても良い時間を過ごすことができました。



(理事 古瀬勝彦・土屋 淳)

大正海上 サロン会

薬について学びました！

10月15日(木)、ドレミホールにおいて、第2回ふれあいサロン会を講師2名、参加者19名、計21名で実施しました。

これから寒さに向かって体調を崩される方が多いことから健康問題について、特に「高齢者のための薬との上手なつき合い方」を取り上げ、ファーマシックにびき薬局から、高田浩三氏他1名を講師に迎え、薬についてお話しいただきました。

薬は大きく分けて、大衆薬と医療用薬があるとのこと。

◎大衆薬とは、薬局や薬店で直接誰でも自由に買うことができる医療品で一般用医薬品

◎医療用薬とは、病院や診療所または処方せんにより薬局で調剤するための医薬品

次に薬の用法について

食 前	： 食事をする約30分前の空腹時
食直前	： 食事を始める直前
食直後	： 食事を終えたら直ちに飲む
食 後	： 食事をしたのち約30分以内
食 間	： 食後2時間くらいで空腹時に飲む
時間毎	： 食事に関係なく指示された時間毎
寝る前	： 寝る直前から1時間前位に飲む
頓 服	： 必要に応じて服用、次回服用の間隔は薬の種類、病気によって違うので注意が必要

薬について、いろいろ詳しく説明していただきましたが、大事なことは、①飲み忘れや誤った服用はしないこと、②お薬手帳を常時携帯していれば、有事のときに役立つとのこと。

参加者からの質問もあり、本当に真剣に健康についてみなさん考えておられ、有意義な会となりました。

講話の後は、昼食を取りながら意見交換を交え、和やかな時間を過ごし、午後1時に散会しました。



(理事 池田則雄)

ご寄贈御礼

このたび、次のみなさま方から塩冶地区社会福祉協議会に対し、香典返し及びご寄附をいただきました。

ご厚志に深く感謝いたしますとともに、故人のご冥福を心からお祈り申し上げます。浄財は、塩冶地区の福祉事業のために使わせていただきます。今後とも、ご支援賜りますよう、お願い申し上げます。

(10月1日から11月30日まで) 敬称略

香典返し

寄附者名 故人名 区域名 寄附金額

--

※ 掲載欄の — は、掲載を希望されない方。

福祉施設視察研修会を開催

11月17日(火)、塩冶地区社会福祉協議会の理事・福祉委員合同の福祉施設視察研修会を出雲市西新町の「介護老人保健施設ケアセンターかんど」に於いて、17名で行いました。



事務長の岸 勝様より施設の概要及び運営方針の説明のあと施設内を案内していただきました。要介護度の認定を受けられた方が自立して生活するためのリハビリテーション、食事、入浴などの看護・介護サービス、医療サービスなど、島根大学医学部をはじめ他施設とも連携を取りながら入所・在宅サービスを積極的に運営されています。

なお、施設は明るく清潔で、ゆったりしたスペースのある建物で穏やかな環境にあり、また入所者に対しては職員のいつくしみのある対応がうかがわれるなど、理事・福祉委員とともに大変良い研修になりました。

(総務部)

*この「地区社協便り」は、出雲市社会福祉協議会からの助成金を財源の一部として発行しております。

塩冶地区社会福祉協議会 役員(理事)を募集!

塩冶地区社会福祉協議会(以下「塩冶社協」という。)の平成28・29年度、理事の一部を下記の通り募集します。自薦、他薦を問いませんので、奮ってご応募ください。

記

- 募集人員：10名程度
- 応募期限：平成28年2月29日(月)
- 応募・問い合わせ先：中尾 一彦(会長)
携帯 090-7778-7879



1. 塩冶社協について

- (1) 社協の目的：塩冶地区の住民と相互に協力して、社会福祉の増進を図ります。
- (2) 団体の性格：地区に支えられたボランティア団体で、任意団体です。
- (3) 主な活動(H27年度)：戦没者追悼・平和祈念式、社協便りの発行、福祉座談会、公園美化活動、高齢者福祉大会、ユニバーサルにデザインされたまちづくり事業、子ども会活性化事業、児童綱引き大会、日本語教室、ふれあいサロン事業など
- (4) 理事の人数：平成27年度の理事は、25名です。
- (5) 詳しくは、[塩冶社協のホームページ](http://enyashakyo.skr.jp) (enyashakyo.skr.jp)をご覧ください。

2. 募集する理事について

- (1) 任期：平成28年5月から平成30年5月(2年)
- (2) 役割：毎月開催される理事会に出席するとともに、5つの専門部(企画部、総務部、広報広聴部、高齢者・障がい者福祉部、青少年育成部)の一つに属し、活動します。
- (3) 報酬：ありません。

***** 編集後記 *****

今年も残り少なくなりました。皆様方には今年の反省、来年の計画をと思い巡らされている頃と思います。塩冶社協の行事も順調に消化され、地域福祉活動の成果を皆様に報告しております。

私は毎朝のNHK連続ドラマ「あさが来た」を楽しみに見えています。主人公(広岡浅子)の改革に努める情熱に感銘しています。時々「びっくりポン」と言って、なにか視聴者を引き付ける台詞がユニークです。

来年の塩冶社協活動もマンネリ化しないで無駄なものはスクラップして新しいことに挑戦していくさまをお伝えできればと思っています。

(理事 今岡碩博)